

採血用穿刺器具

ジェントレット 取扱説明書

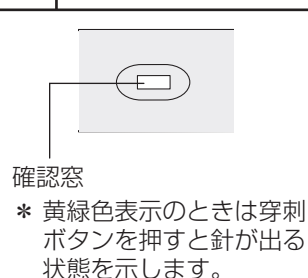
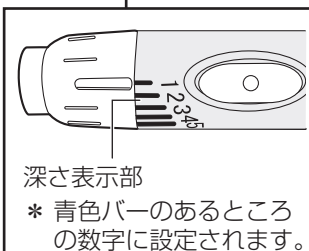
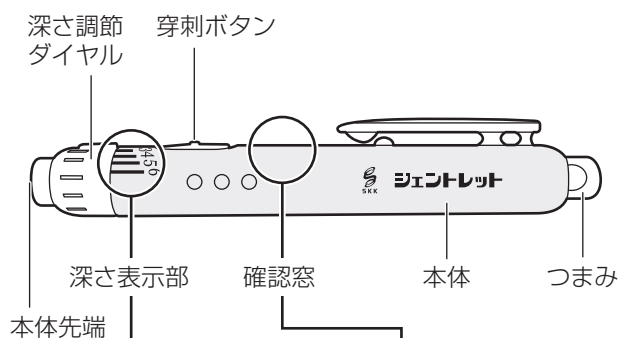
ジェントレットは、使い捨ての専用の採血針（ジェントレット針）を用いて少量の血液を採取するための器具です。ジェントレットは、穿刺の深さを6段階に調節できますので、深さ調節目盛りを最適な深さにしてからご使用ください。

【使用上の注意】

1. 使用後の採血針には触れないでください。[感染の危険性があります。] 使用後の採血針は速やかに廃棄してください。
2. 感染の危険性があるため、採血部位の消毒を必ず行ってください。また、採血後はばんそうこうなどで止血と保護を行ってください。傷口が治りにくいときには、こまめに消毒してください。
3. 確認窓に黄緑色の表示が出ている状態で放置しないでください。[誤って穿刺される危険性があります。]
4. 分解や改造を行ったり、採血以外の目的で使用しないでください。
5. 採血針は再使用禁止。毎回新しいものを使用してください。

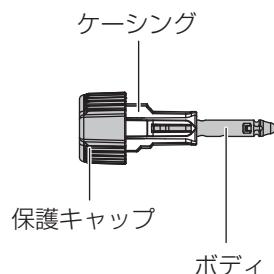
【ジェントレットと採血針の各部の名称】

ジェントレット



採血針

ジェントレット、ジェントレットⅡ専用のジェントレット針が使用できます。



- 1 穿刺の深さは、ジェントレットの先端部の「深さ調節ダイヤル」を回し、深さ表示部の青色バーを設定したい数字に合わせます。
数字が大きくなるほど、皮膚への穿刺は深くなります。痛みを最小限にするために、初めてのご使用時には1から始めて測定に必要な採血量を得る最低の数字に設定してください。

穿刺深さ	表示設定
より浅く穿刺します	1-2
標準的な深さ	3-4
より深く穿刺します	5-6

- 2 採血針の保護キャップ部分を持ってジェントレットの先端にまっすぐ挿入し、確認窓全体が黄緑色になるまでしっかりと最後まで押し込みます。この時、穿刺ボタンを押したまま、装着しないでください。採血針をジェントレットに装着する前に、採血針の保護キャップを外さないでください。装着できなくなります。

注意：

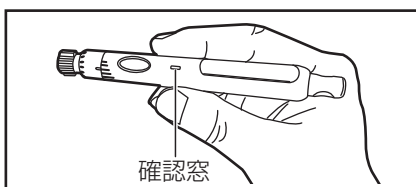
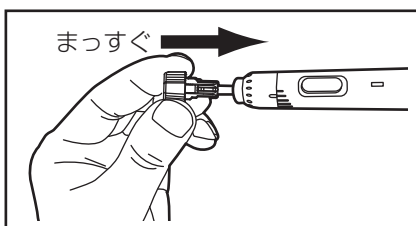
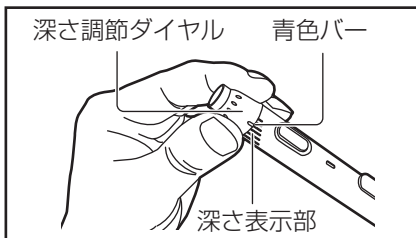
- ・採血針は使い捨てですので、再使用しないでください。
- ・採血針を本体に対して斜めに挿入したり、専用の採血針以外のものを挿入しないでください。破損の原因となり針が露出することがあります。
- ・保護キャップを外した専用の採血針は、ジェントレットには装着できません。無理に装着しようとすると故障の原因となります。

- 3 採血針がジェントレットに装着できたことを確認し、採血針の保護キャップを軽くつまんで半回転以上回したのち、引っ張りながら回して外します。回転が不十分な場合、保護キャップは外れません。外した保護キャップは速やかに廃棄してください。一度保護キャップを外した採血針は、再度保護キャップを装着（リキャップ）しないでください。誤って穿刺ボタンを押してしまった場合は、採血針をセットしたまま、つまみを「カチッ」と音がするまで引っ張ってください。

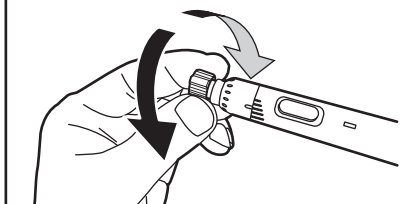
注意：

- ・確認窓に黄緑色の表示が出ている状態（穿刺準備完了状態）や採血針をジェントレットに装着したままの状態で放置しないでください。針が誤って発射される危険性があります。また、故障の原因となります。
- ・採血針の保護キャップを外して使用する前と採血後に、針が露出していないことを確認してください。

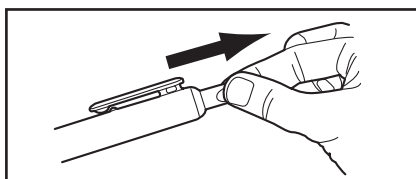
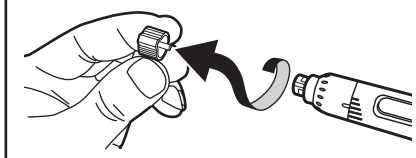
【使い方 採血針のセット方法】



保護キャップを軽くつまんで左右どちらかに半回転以上回す。



保護キャップを引っ張りながら回して外す。



【使い方 採血から測定まで】

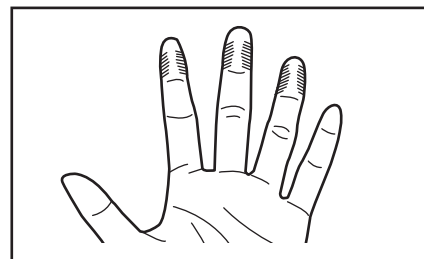
十分な採血量を得るため

穿刺する指をマッサージしたり、お湯などで温めたり、手を腰よりも低く下げたりすると採血しやすくなります。

刺し傷をつけても血液が出にくい場合は、手のひらから指先に向けてマッサージします。

- 1** 採血部位として、図のように指先の両側が推奨されています。

注意：傷口が治りにくくなる可能性がありますので、測定ごとに採血するところは変えるようにしてください。
耳朶等の組織が薄い部位への穿刺を行う場合には、穿刺部位の裏側を直接指で支えないでください。[組織を貫通した針で指を穿刺し、血液を介した感染のおそれがあります。貫通のおそれがある場合には、他の組織の厚い部位での穿刺について検討してください。]

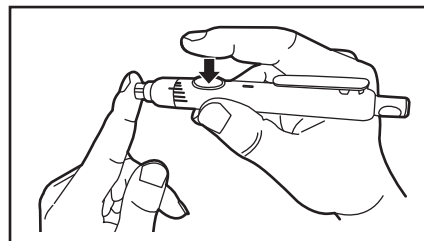


- 2** 消毒綿で採血する部分を消毒し、乾燥させます。

注意：・感染の危険性がありますので、必ず消毒してください。
・指先から採血する場合は、穿刺前に、必ず流水でよく手を洗ってください。
・果物等の糖分を含む食品などに触れた後、そのまま指先から採血すると指先に付着した糖分が血液と混じり、血糖値が偽高値となるおそれがあります。
[アルコール綿による消毒のみでは糖分の除去が不十分との報告があります。]

- 3** ジェントレットに取り付けた採血針の先端を採血する指の目的の場所につけ、穿刺ボタンを押し、測定に必要な血液滴を得ます。

注意：穿刺ボタンを押す前に、ご自分の深さ設定かどうか再確認してください。



- 4** 得られた血液で血糖測定を行います。

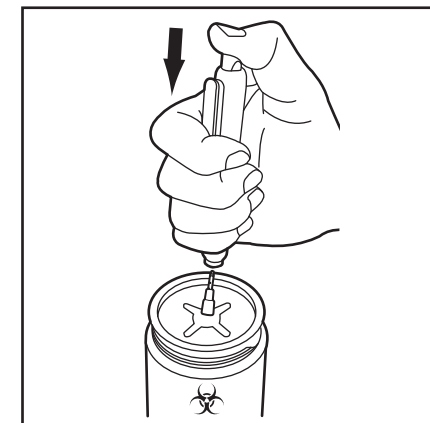
* 血糖測定の方法はご使用になっている血糖測定器や専用のセンサーの取扱説明書、添付文書をお読みください。

- 5** 血糖測定後、採血部分をばんそうこうなどで止血します。

注意：採血後は、感染の危険性がありますので、必ずばんそうこうなどで止血してください。傷口が治りにくいときは、こまめに消毒してください。

- 6** つまみを押して、使用後の採血針を外します。

注意：一度保護キャップを外した採血針は、再度保護キャップを装着（リキャップ）しないでください。使い終わった採血針は、リキャップせずに速やかに針回収容器に入れ、安全に廃棄してください。



ジェントレットの保管方法

- ・採血針の先端は非常に鋭利で危険ですので、取り扱いには十分注意し、お子さまの手の届かないところに保管してください。
- ・水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管してください。ジェントレットの外側はやわらかい布などで拭いて、常に清潔にしてください。
- ・汚れや異物などが本品の外側に付着した場合は、水、アルコールで湿らせ固く絞った布などで拭き取り、乾燥させてください。本体を水、アルコールなどの液体に浸漬したり、本品内部に液体が浸入すると、内部の部品が破損することがあります。

●製品の取扱いに関するお問い合わせは、三和化学研究所へ●

フリーダイヤル ハイサンワ

 **0120-07-8130**

お問い合わせは365日24時間お受けいたします。

製造販売元

PHC株式会社

東京都港区西新橋2-38-5 〒105-8433

販売元



株式会社 三和化学研究所

SKK 名古屋市東区東外堀町35番地 〒461-8631